

# 【JETRO提供資料】

## NYC 屋外オープンレストラン申請のためのガイドライン（改定）

※本対応方法は、NY市の指導方法をまとめたものです。

<https://www1.nyc.gov/html/dot/html/pedestrians/openrestaurants.shtml#apply>

お問い合わせ先：ジェットロ ロサンゼルス事務所 [lag-food@jetro.go.jp](mailto:lag-food@jetro.go.jp)

【免責条項】本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェットロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェットロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

### オープンレストランプログラムの改定（2020年9月25日発表）

2020年9月25日、NYCは、普及しているオープンレストランプログラムを恒久化すること

[\[https://www1.nyc.gov/office-of-the-mayor/news/680-20/recovery-agenda-mayor-de-blasio-extends-outdoor-dining-season-year-round\]](https://www1.nyc.gov/office-of-the-mayor/news/680-20/recovery-agenda-mayor-de-blasio-extends-outdoor-dining-season-year-round)、また、レストランにおける暖房やエンクロージャー

（天井・四方を覆ったテント）の使用と、隣人の同意を得た場合における隣接地への座席エリアの拡張を許可することを発表しました。具体的なガイダンスは、近く公表されます。

NYCは、市議会と連携して、プログラムの恒久化に必要な規則の改正を行う予定です。

### 隣接地

- NYCは、レストランが隣接地の前の範囲まで座席エリアを拡張する許可を行うにあたっては、隣接地の所有者が一定の期間そのスペースを使用することに正式に同意し、かつ、その使用について料金を請求しないと約束する限りにおいて、許可します。
- 隣接地の前に拡張した座席エリアにまでアルコールサービスを拡大することに関する要件について、NYCは、ニューヨーク州酒類管理局（State Liquor Authority (SLA)）と連携していきます。
- 10月初旬には、NYC DOT（Department of Transportation）は、同意書の雛形を発行するとともに、同意書の提出方法に関する細則を公表します。
- 隣接地は、正式な細則が公表され、かつ、正式に同意書を取得するまで使用することはできません。

### 暖房

- 寒冷期に入りますので、NYCは、屋外飲食設備として暖房器を用いることをレストランに許可します。
- 歩道と車道の双方において電気式の暖房器が許可されます。



- プロパンガス式と天然ガス式の暖房器は、歩道の座席エリアでは許可されます。車道の座席エリアではこれらは、今後も禁止です。
- プロパンガスの屋外使用と取扱い、およびタンクの屋外での安全な夜間保管については、NYC 消防局 (FDNY) からの許可を取得するとともに、消防局の規則を順守しなければなりません。
- 暖房器の承認、設置および使用に関する公式ガイダンスは、9 月末までに公表します。ガイダンスが公表されるまで、かつ、ガイダンスに従わない限り、レストランが暖房器を設置することは禁止されます。

## テント

- また、レストランは、利用者の防寒用にテントエンクロージャーを用いることも許可されます。
- 部分的なテントエンクロージャーの中では、テントの側壁の表面積の 50%以上を開けておかなければなりません。電気式暖房器が許可されます。
- 完全なテントエンクロージャーの中では、テントの側壁は閉めることができますが、収容人数制限として、最大収容人数の 25%が上限となり、屋内飲食ガイドラインに従わなければなりません。電気式暖房器も許可されます。
- ビニール製ドームなどのエンクローズド・ストラクチャー (天井・四方を覆った構造物) についても、個別の団体客向けに許可されますが、空気が循環できるように適切な換気が必要となります。

## 車道の安全

- プログラムの期間が冬季にまで継続されることになりましたが、冬季には、悪天候が車道の状態に影響することもあるため、NYC は、レストラン業界とその他のステークホルダーと連携して、車道上のバリアをさらに強化するための追加の安全措置を策定する予定です。
- NYC は、2020 年 11 月 15 日までに新たな安全措置を遵守するようにレストラン所有者に義務付ける予定です。
- さらに、大雪が降った場合には、一部のバリアについては車道から一時的に撤去しなければならない可能性があります。



ニューヨークシティ（NYC）ではソーシャルディスタンスを保ち、屋外飲食席オプションを飲食店が提供できるようにし、現在の困難な状況下での営業活動を支援するため、多段階のオープンレストランプログラム（Open Restaurant Program）が設立されました。

一時的に拡張された屋外飲食には、2つ方法があります。

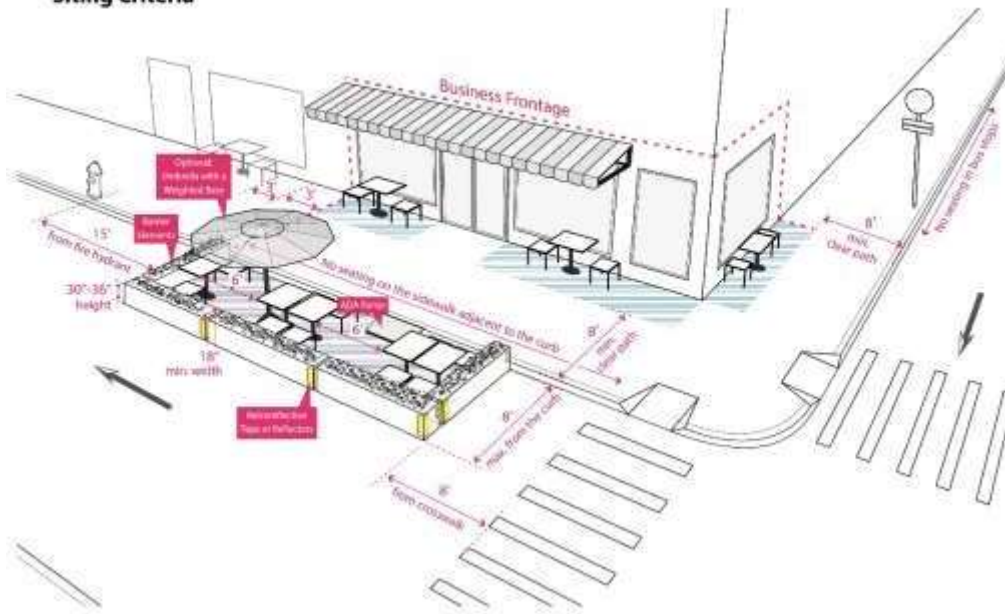
- オープンレストラン：飲食店は、以下リンクより店に隣接する歩道や縁石沿いの道路を屋外飲食に使用できるよう以下のリンクから申請しセルフ・サーティファイ（自己認証）することができます。<https://nycopopenrestaurantsapplication.s3.amazonaws.com/index.html>
- オープンストリート：レストランー公共コミュニティをベースにした組織や同じ商業地区（ビジネス改善地区（BID））、または1つの区画に店を構える3軒以上のレストランは、道路を屋外飲食に使用するため、週末のみ封鎖した道路での屋外飲食許可を共同で申請する事ができます。道路を利用される場合には以下のリンクにて申請ください。<https://survey123.arcgis.com/share/fa0f87e59af6413cbd3604a6c4edeff9>  
詳細情報とオープンストリートの場所は、レストランプログラムのページをご参照ください。  
<https://www1.nyc.gov/html/dot/html/pedestrians/openstreets-restaurants.shtml>

これらのプログラムは、ニューヨーク州知事から認可を得ている既存の飲食店が、フェーズ2で再開することを承認され、一時的に屋外エリアを使用したいレストランを支援することを目的としています。この申請は、店前の歩道や車道を屋外飲食用に店舗前の歩道や車道の使用を希望するレストランのみを対象としています。私有地の利用には申請する必要はありません。

NYCのアプローチは地理的公平性を優先し、新型コロナウイルスによって最も影響を受けている方々に支援が届くようにしております。



## NYC Open Restaurants Siting Criteria



オープンレストランへの申請の前に、レストランの場所がオープンレストラン用の条件を満たすかご確認ください。

\*申請書の提出は、レストランが適用されるすべての契約条件と法律、及びガイダンスを理解し、同意した事を意味します。レストランが準拠していない場合、市はプログラム期間中いつでも許可を取り消すか停止することができます。

\*苦情や ADA アクセスの欠如、工事・修繕の必要性がある、もしくはそれ以外の理由で、NYC DOT (Department of Transportation) が屋外飲食の権利を事前通知もなく見直す・一時的停止する・または終了させる事もあります。

### 歩道の利用条件

- 椅子やテーブルはレストランの壁沿いに設置してください。
- 歩道の座席エリアは、レストランの店前範囲の歩道を超えてはいけません。
- 歩行者が通れるよう歩道の 8 フィートは残す必要があります。

JETRO

- 隣接する事業所から3フィート以上離れていないといけません。
- 地下鉄格子やユーティリティー設備、消防士用スプリンクラーなどをブロックしてはいけません。
- バス停エリアをブロックしてはいけません。
- 通行経路確保の際、パーキングメーター・交通標識・格子のついた樹木ピット（樹木ガードなし）は除外します。その他のすべての地上の構造物は障害物とみなします。
- 椅子やテーブルは申請者が準備してください。

## 道路の利用条件

レストランは必ず以下のことに準拠してください：

- 席から道路に向いている三方向すべてにプランターや同じサイズ・重さの物体などの保護バリアを立て、飲食エリアと走行車線を分けてください。バリアは幅18インチ、高さ30～36インチ（植物などを除き）以上でなければならず、自動車運転手の視界を確保し、レストラン利用者を保護しなければなりません。（上記の設置基準図をご参照ください）
- バリアは隙間なく隣接して置き、歩道の縁石から8フィート以内に配置してください（設置基準図をご確認ください）
- 道路内飲食エリアはレストランの店前範囲を超えてはいけません。
- 黄色の反射テープや反射板をバリアすべてに貼り、夜間に利用者とバリアの視認性を確保してください。（設置基準図を確認ください）
- ADAに準拠した、スロープを提供してください。常設でなくても構いません。
- 消火栓から15フィート以内に椅子やバリアを設置してはいけません。設置すると、他の市民の火災からの安全を脅かすことになります。
- 安全な車両旋回範囲を提供し、混雑を回避するため、横断歩道から8フィート以内に椅子やバリアを設置してはいけません。
- 交通の妨げになるような照明などは設置しないでください。

停止禁止エリアや立ち入り禁止エリア、自転車レーン、バスレーン・停留所、タクシー乗り場やカーシェアスペースに、椅子やテーブルを設置してはいけません。[例外：時間制の停止禁止または立ち入り禁止区域では、その規制時間以外の場合、座席を設置することができます。停止禁止もしくは立ち入り禁止の規則が有効な場合は、バリアと座席を車道から撤去しなければなりません。]



- 倒れないように底に重りが付いたパラソルやテントのみ使用ください。飲食エリアは完全に囲われていないといけません。パラソルやテントは合計 400 平方フィート以内、またはメーカーの設置手順に従い安全に設置ください。複数のテントを組み合わせたり、互いに結びつかけたりして使用する場合は、合計して 400 平方フィートを越えることはできません。傘やテントはバリアを超えて伸びたり、ユーティリティカバーへのアクセスや換気を妨げたり、歩行者用の道を妨げてはいけません。傘やテントは、強風などの悪天候時には使用しないでください。気象注意報情報提供サービスに登録してください。DOB 2020-013 Bulletin を参照してください。
- テーブルや椅子、バリアなどはすべてレストラン側から提供しないとはいけません。
- 使用していないときは、テーブルと椅子を片付けるか、それらを所定の位置で安全に固定してください。
- NYC 消防局が定める火災およびその他該当する消防法に準拠してください。

レストランオーナーは：

- メーターゾーン、路上駐車エリア (Alternate Side Parking, ASP)、駐車禁止区域内に設置されているバリアは営業時間外に動かす必要はございません。テーブルや椅子は営業時間外には片付けられている、または取られないよう固定されていなければなりません。
- 縁石に沿って飲食エリアが許可されている場合、バリア内のエリアにプラットフォームなどを設置し、ADA に準拠できるよう縁石との段差ができないように工夫して縁石がつかずきのもとにならないようにするとともに、排水を妨げないようにしてください。
  - プラットフォームは雨水などの水の排水への流れを妨げてはいけません。
  - プラットフォームは、ユーティリティカバーへのアクセスや換気を妨げてはいけません。

以上の条件を満たすレストランは NYC のオープンレストランプログラムに適用される可能性があります。申請には以下の情報が必要となります：

- 企業名 (DBA)、住所と連絡先
- Food Service Establishment Permit 番号
- 使用しようと思う歩道や道路エリアの寸法



アルコールを提供しようと考えているレストランは：

- State Liquor Authority (SLA) serial number
- SLA license information
- Licensee certification